

ページ	該当箇所	誤	正
79	問題 4.4.2 (1) 3 本目の方程式の定数項	8	1
184	例題 8.2.1 (2) の解答の 2 行目の最も右の式	$\mathbf{b}_3 + i\mathbf{b}_1 - \frac{-2i}{3}\mathbf{c}_2$	$\mathbf{b}_3 - \frac{2}{3} \cdot (2i)\mathbf{c}_2$
245	問題 1.3.2 の解答例	点 A は直線 ℓ 上にない	点 P は直線 ℓ 上にない
253	問題 3.2.2(1) の解答. A^{-1} の (3, 4) 成分	-1	1
253	問題 3.2.4 の教科書の解答例	混乱している.	下の通り
265	問題 5.3.4(3) の解答	$-\det \begin{bmatrix} 1 & -3 & a \\ 0 & a+6 & 2a+1 \\ 0 & 3a+2 & -a^2-1 \end{bmatrix}$ $-\det \begin{bmatrix} 1 & -3 & a \\ 0 & a+6 & 2a+1 \\ 0 & 4a+8 & -a^2-2a \end{bmatrix}$ $\det \begin{bmatrix} 1 & -3 & a \\ 0 & 4 & -a \\ 0 & a+6 & 2a+1 \end{bmatrix}$	$-\det \begin{bmatrix} 1 & -3 & a \\ 0 & a+6 & -2a+1 \\ 0 & 3a+2 & -a^2-1 \end{bmatrix}$ $-\det \begin{bmatrix} 1 & -3 & a \\ 0 & a+6 & -2a+1 \\ 0 & 4a+8 & -a^2-2a \end{bmatrix}$ $\det \begin{bmatrix} 1 & -3 & a \\ 0 & 4 & -a \\ 0 & a+6 & -2a+1 \end{bmatrix}$
266	問題 5.4.3 の解答例の第 2 行目	$\det A \cdot E_n$	$\det(\det A \cdot E_n)$
278	問題 8.3.2 (2) の解答例の U の (1, 2) 成分	$\frac{-i}{\sqrt{2}}$	$\frac{i}{\sqrt{2}}$
279	問題 8.3.3 (2) の解答例の V の (1, 3) 成分	$\frac{-i}{\sqrt{3}}$	$\frac{i}{\sqrt{3}}$

問題 3.2.4 解答例. A の第 k 行ベクトルを \mathbf{a}'_k とおく.

- (2) $Q_m(i; c)$ の第 k 行ベクトルを \mathbf{q}'_k とおく. $Q_m(i; c)A$ の第 k 行ベクトルは $\mathbf{q}'_k A$ である. $k \neq i$ ならば $\mathbf{q}'_k = \mathbf{e}'_k$ である. $\mathbf{q}'_i = c\mathbf{e}'_i$ である. 従って, $k \neq i$ ならば $\mathbf{q}'_k A = \mathbf{e}'_k A = \mathbf{a}'_k$ であり, $\mathbf{q}'_i A = c\mathbf{e}'_i A = c\mathbf{a}'_i$ である. ゆえに, $Q_m(i; c)A$ は行列 A の第 i 行を c 倍して得られる行列である.
- (3) $R_m(i, j)$ の第 k 行ベクトルを \mathbf{r}'_k とおく. $R_m(i, j)A$ の第 k 行ベクトルは $\mathbf{r}'_k A$ である. $k \neq i$ かつ $k \neq j$ ならば $\mathbf{r}'_k = \mathbf{e}'_k$ である. $\mathbf{r}'_i = \mathbf{e}'_j$, $\mathbf{r}'_j = \mathbf{e}'_i$ である. 従って, $k \neq i$ かつ $k \neq j$ ならば $\mathbf{r}'_k A = \mathbf{e}'_k A = \mathbf{a}'_k$ であり, $\mathbf{r}'_i A = \mathbf{e}'_j A = \mathbf{a}'_j$, $\mathbf{r}'_j A = \mathbf{e}'_i A = \mathbf{a}'_i$ である. ゆえに, $R_m(i, j)A$ は行列 A の第 i 行と第 j 行を入れ換えて得られる行列である.

□